

日本共産党 大津市会議 員団ニュース No.214

2021年
9月号

大津市御陵町3-1(市役所内)
TEL528-2842 Fax524-5613

大津 共産党 検索

8月市議会

「いのち最優先」
示さない大津市政

新型コロナ感染が深刻です。大津市には市民を守る思い切った施策に取り組むことが求められています。8月31日から大津市議会通常会議が始まり、党市議団は迅速で実効性のある施策を求め取り組んでいます。

今議会には、高齢者施設への防災対策の補助、売り上げが落ち込む小規模事業者、個人事業主への経営相談などの費用を計上した補正予算が提案されています。

同時に、市内の消費喚起のためとして、キャッシュレス（非接触型）決済のポイント還元事業に2億円も計上して

消費を促すというのであれば、中小事業者や消費者を直接支援する給付金や、他市でも取り組まれている経済循環を生み出す地域商品券などを検討すべきです。いま市に求められているのは、市民の命を最優先に、積極的な感染防止対策を打ち出すことです。

「コロナ禍を教訓に 市民福祉の向上を

コロナ禍は、地方自治体の役割を問い直すきっかけともなりました。

現在、大津市は2024年度までを期間とする行政改革プランの策定を進めています。これまでの効率・予算削減

8月議会の議案（一部）

- 急ぐ必要のない大津港サイクルステーション、県言いなりで設置
- 「比良とびあ」浴場利用料 値上げ
- 市内の漁港管理 委託から市直営へ
- 消防・救助工作車、高規格救急自動車（2台）の更新

減優先で市民サービスを切り捨てるあり方から、市民の命と暮らしを支えることに足場を置き、困難を解決する姿勢を打ち出すが問われています。今議会は昨年度の決算も審議します。市民の願いに込める市政のあり方を、しっかり追及していきます。

(初日に採決された補正予算については、裏面)

新型 コロナ

市民の命・暮らしを守るために全力つくせ 大津市でも感染爆発

自公政権の無策と東京五輪・パラリンピックの強行で新型コロナの感染が拡大し続けています。大津市でも、8月に入り急激に感染者が増加。1か月間で感染者が1534人と、これまでの累計感染者数の41%を占めています（市集計）。

がっているデルタ株の感染力は、従来株の2〜3倍と言われています。また、ウイルスを含んだ粒子が空中を漂うことで感染する「エアロゾル感染」が指摘されています。自衛隊・大津駐屯地でもクラスターが発生し、無症状者が100人以上いたことがわかり、市民の不安は強まっています。党市議団は、大津市と大津駐屯地に対し、感染拡大を防ぐため検査の徹底や市民への丁寧な情報提供などを求めました。

必要な医療が受けられる体制を

医療や保健所業務も危機的な状態です。命を守ることを放棄す

検査の拡充 臨時医療施設ただちに

るような国の「原則自宅療養」の方針に続き、滋賀県も40歳以下のほぼ無症状の感染者は自宅療養の方針を出しました。しかし、入院が必要でも受入れ先のない待機者が一時は200人を超え、現在も百数十人おられます。また、「自宅「療養」者も1000人を超える状況が続いています。党市議団は、県と協力して臨時の医療施設をただちに整備すること、感

子どもへの感染防げ！

県内では、保育施設でのクラスターが次々と発生しており、大津市も同様です。夏休みが明け、「密」が避けられない学校での感染拡大が心配されます。

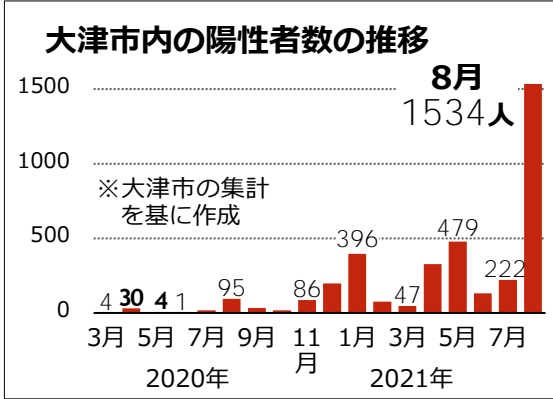
染者を発見するための大規模検査の実施、医療機関への支援、保健所の人員増を市に求めています。



自衛隊に感染拡大防止を要請する党市議団と節木県議

写真提供:滋賀民報社

学校、児童クラブ、保育園などの職員の定期検査、1人でも感染がわかればクラス単位で全員を検査するなど、子どもたちの安全と教育を保障する対策が必要です。



感染防止に逆行 市補正予算

補正予算(第6号)は、8月通常会議の初日に、即日採決とされました。

速やかな対応が必要な、7月までに発生した暴風雨や台風9号による道路や河川への土砂など堆積物の除去や、農業用施設、打出中学校グラウンドの防球ネット倒壊など被害の復旧事業費が計上されています。

一方で、湖岸なぎさ公園の「にぎわい向上」を目的としたキッチンカーなどの実証実験が盛り込まれています。

災害復旧はただちに必要ですが、コロナ感染を封じ込めるために人の流れを抑えなければならぬ今、にぎわいをつくるための実証実験は認められません。公園の活用を民間任せにすることにも問題があり、党市議団は、予算案に反対しました。

8月豪雨

大津市各地で被害

8月13日から14日にかけての集中豪雨は、大津市内にも大きな被害を及ぼし、土砂崩れや河川の氾濫による浸水などが発生しました。

特に被害が大きかった志賀学区の高砂町では土砂で主要道路が埋まり、現在も通行止めとなっており、住民は不便を強いられています。逢坂、膳所学区などにも避難者がおられました。

日本共産党



避難所となった市民センターで話を聞く節木県議、柏木市議 写真提供: 滋賀民報社



雨で崩れ、ブルーシートで応急処置された市中央部の住宅地斜面

市議団は、現場や避難所をまわり、市職員や避難者に要望などの聞き取りを行いました。

高齢者や体の不自由な方のためにダンボールベットの手配、被災ゴミの回収の段取りなど、市とも連携して活動しました。また、膳所学区では、防災士でもある杉浦議員が自主防災会のみなさんと

ともに避難所運営などにも携わり、避難者の対応に当たりました。これか

ら台風シーズンです。道路や住宅だけでなく、河川に流入した土砂が堆積したままなど、復旧の目途が立っていない地域もあり、住民からは二次災害を心配する声があります。党市議団は、住民の声を市に届け、一日も早い復旧の実現、今回の教訓を今後に生かすよう求めていきます。



土砂で埋まった道路(高砂町) 写真提供: 滋賀民報社

いのち最優先の政治に！ 転換のチャンス

いよいよ総選挙！！

菅首相が3日、自民党総裁選に立候補しないことを表明しました。前日まで出馬の意向を示しながら、党内でも支持を得られないなどで追い込まれたものです。

これは、長引くコロナ禍で苦しむ国民に「自助」を押し付け、感染を封じ込めるところか感染爆発を引き起こしたことに對する国民の批判と、粘り強い運動が追い詰めたものです。

同時に、これは菅首相一人の問題ではなく、自民党・公明党政治そのものの破綻を示すものです。新型コロナ対策では、大規模検査を行わないため無症状者の感染連鎖を防げず、1年半以上たっても医療体制の強化を行ってこなかったことが、医療にかかれず亡くなる国民を多数生み出しています。

また、この1年だけでも、日本学術会議に対する人事介入、総務省接待・買収、入管での死亡事件など数々の問題にふたをしたままです。

日本共産党は、市民と野党の共闘で政権交代をめざし、政権

公約案として「新しい日本をつくる提案」をしています。

格差をただし暮らし応援、憲法を守る平和外交、環境を守り自然と共生する経済、多様性を大切に人権を尊重する政治へ。日本共産党が伸びれば政治は必ず動きます！大津市議団も力を尽くします。



9月、10月 市議会日程

9月8日(水)～13日(月) 一般質問
15日(水)～27日(月) 各種委員会
29日(水) 決算以外の議案の討論・採決

10月 1日(金)～7日(木) 昨年度決算の審議
8日(金) 決算議案などの討論・採決

会場は大津市役所 4階です。本会議は、市役所新館1階ロビーでの中継、インターネットで中継、録画がご覧いただけます